

玉樹だより

Tamaki Dayori

2019
あき号
Vol.48



平成23年 夏、玉樹開設から6年目を迎え、新たな事に取り組みました。

それは、玉樹で働いている職員のお子さん達を、学童や託児所のような形で夏休み、冬休み期間中、お預かりすることに！……名付けて【たまきっず倶楽部】。

女性の職員が多い玉樹で、少しでも働きやすい環境を作っていきたい！と始まった取り組みです。学校も、学年も違う子ども達。親が働く玉樹で出逢い、少しずつ距離をつめながら関係ができていく様子。大きい子が小さい子を気かけ、みんなで協力して物事を進めるさまに感心させられます。

そして、自分の親が働いている姿を見ることができます。核家族が多い現代、家にお年寄りがいる家庭も少ないです。たまきっず倶楽部では、お年寄りとおふれあう機会を積極的に作り、デイサービスの朝のお出迎えとお茶入れ、2階ガーデンの水やり、お年寄りの肩もみ等しています。お年寄りも、子ども達の元気な声を聞くと「来てたのか、えらいな」「何年生だ？」等々、笑顔がこぼれています。

たまきっず倶楽部は小学6年生までが対象です。小学校を卒業し、ボランティアでお手伝いに来てくれた中学生や、高校生アルバイトとして働きに来てくれた元たまきっずもいます。

8年前に働きやすい職場づくりを目指して蒔いた小さな種ですが、子ども達の福祉への興味という形で芽が出てきたかなという感触です。今後、お年寄りとおふれ合いながら成長した子ども達が、花を咲かせ、新たな種を蒔き、福祉の輪が未来に広がる事を祈りつつ、続けていきたいと思ひます。

たまきっず倶楽部 笠倉 絹枝



さんま祭り



感染対策 あなたの手洗いは大丈夫！？

インフルエンザが流行するこの時期、玉樹では感染症対策として手洗いを徹底しています。なぜかという「手」を介した接触感染が1番の原因となるからです。しかし、**洗い残しがあるとその効果は半減**してしまいます。

また、きちんと洗っても、ご家庭では家族で共有のタオルを使うと、湿ったタオルで増殖した細菌が再び手に付着してしまうので、手拭きタオルの共有は避けましょう。

免疫力が低下している高齢者は感染症にかかりやすく、肺炎や脱水を伴い命の危険に繋がるリスクも高いので「**面会時**」には**手洗い**のご協力をよろしくお願い致します。

<手洗い方法>

- ①石鹸をよく泡立てる
- ②手の平・手の甲もよくこする
- ③指先・爪の間も入念に
- ④指を交差させて指の間も
- ⑤親指は反対の手でひねり洗い
- ⑥最後に手首も忘れずに！

～洗い残しが多い部分～



- 最も洗い残しが多い
- やや洗い残しが多い

玉樹では一台で100畳の空間に対応可能な加湿器の「うるむ君」が出勤中！湿度管理で、咳やくしゃみでのウィルスの飛沫を軽減。



玉樹の介護で語ろうピンポンパン！



2019年5月より、外部の方との交流や自己啓発の場を玉樹から発信して作っていこう！ということで、「玉樹の介護で語ろうピンポンパン!」と題してオープンセミナーを開催しています。

テーマは毎回様々で「お年寄りとの関わり方」「虐待論」など。第3回目の今回は「新しい介護を始めよう!」をテーマに、日本全国で人間性を重視した介護のあり方を伝えている「生活とリハビリ研究所代表 三好春樹氏」を講師に迎えました。今まで関わりがなかった隣接県や関西など遠方の福祉施設の方、利用者様のご家族も参加され、新たな交流の機会となっています。

文：佐藤あすか



楽しみ
Event

社会福祉法人 絢会 敬老会

祝い歳の方の表彰、恒例の阿波踊りやそば打ち見学も♪家族様も一緒にお祝い♪

2019.9.16





秋のぎゅんぎゅんバスツアー



今回のツアーは「成田山に行ってみたいな～」というお年寄りからの声もあり、10月23日『成田山新勝寺』へ♪ 天気は晴天！とても温かく過ごしやすい1日でした。

本堂へ行き参拝。どんな事を願ったのかお聞きすると、

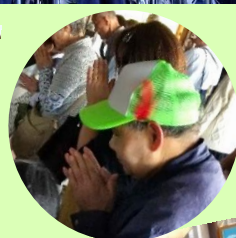
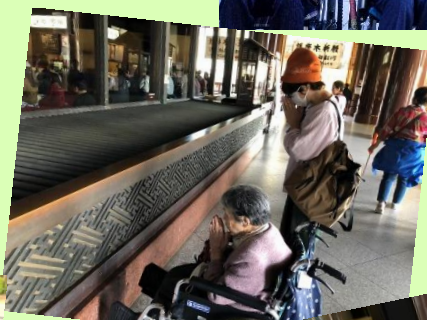
「家族の健康」「兄弟の病気が治る様に」「商売繁盛！」と仰られておりました。家族想いの母の顔、妻の顔、おじいちゃん、おばあちゃんの顔、兄弟想いの弟の顔が見えた瞬間でした。

参拝後はおみくじ！

ドキドキ・・・
娘さんが大吉で
「良かったね～」
と、この笑顔♪



成田山新勝寺
「総門」「仁応門」の前で記念に！



職員も大吉！



家族さんへ
お守り購入♪



成田山といえ
ばうなぎ



甘い物は
別腹♪



痛い所が
治りますように
煙を...

帰り道・・・

ひい様からは、「どこへだって行けちゃうかも」

「また来年も来たいね～」との言葉が！

車中から大仏が見えると、「牛久の大仏、今度一緒に行こう。」とよし様。

「拝んだから、良くなる！」と、たか様。ふみ様達の笑顔や嬉しそうな表情。

言葉や表情から伝わる、いつも一緒にいる職員には分かる確かな充実感☆

少し自信が持てたり、次の楽しみや目標を持っていたいただけたと

感じられる瞬間が、私達職員にとってすごく嬉しいです。

次のツアーもまた、こんな気持ちを少しでも持っていただける様に企画して行きたいです！





自分で出来る！～ ヤマさんの笑顔 ～



ヤマさん（仮名）は、ご自宅ではベッド脇にポータブルトイレを置いていますが、下衣類の上げ下ろしが上手く出来ず、リハビリパンツやズボン、布団や床を濡らしてしまうと家族様から相談を受けていました。



ショートステイでのトイレは、夜間にご自宅と同じようにポータブルトイレを置いてナースコールで職員を呼んでいただき、日中は職員がトイレまで誘導して、下衣類の着脱などをサポートしていました。それと同時に、自宅でも失敗なく排泄できるよう、手すりにしっかり掴まり立つ、掴まった手を交互に離しズボンの上げ下げをする等、排泄の一連の動作を職員と一緒に毎回練習していました。



ある日のこと、リビングからヤマさんの「トイレお願いします」の声が聞こえておりましたが、他利用者様の対応中で直ぐに駆けつけることができませんでした。

対応を終えてリビングに戻るも、ヤマさんの姿は見えず。トイレのドアが少し開いていたので駆けつけると、ヤマさんが便器に座ってしまいました。

「ひとりでトイレまで来たんですか？大丈夫ですか？」と声をかけると、ヤマさんは「大丈夫だ！できるよ！」と、とてもキラキラした達成感溢れる笑顔で答えてくれました。



それからのヤマさんは、自分の足で車椅子を漕ぎ、トイレに行くようになりました。職員が「ヤマさん大丈夫？」と声をかけると「大丈夫！できるよ！」と、いつもの笑顔見せて下さいます。夜間も衣類を濡らすことがなくなりました。



そして先日、娘様に「ご自宅での排泄状況はいかがですか？」と伺うと「すごいです。自分でやっているんですよ」と嬉しそうに話して下さいました。

毎回、一緒にズボンの上げ下ろしなどの動作を練習してきたことで、ヤマさんの「大丈夫！できるよ！」という自信に繋げることができたかなと私達も嬉しいです。

在宅利用者様にとって排泄が【自分で出来る】ことは、家族様の負担軽減にもなり、自宅で暮らし続けるためには重要な要素です。
これからもヤマさんの「できるよ！」という笑顔が見られるよう、自宅で暮らし続けるサポートができればと思います





機能訓練はじめました。



今年8月に入職し、理学療法士の資格を活かして、デイサービス玉樹の機能訓練の専門職として関わらせていただいている柳田です。

利用者様にはそれぞれ「膝が痛い」「足がむくむ」「楽に歩きたい」など、お体の悩みがあると思います。また、デイサービスでは安全に過ごせていても、ご自宅の生活では難しい動作もあります。そこで、**利用者様一人ひとりの症状やお悩みに合わせた機能訓練を、マンツーマンで行い**、利用者様それぞれの希望に応えられるようにしています。

機能訓練の目的は、身体機能の維持・予防です。具体的には、硬くなった筋肉をほぐすためのマッサージやストレッチ、腿上げや膝伸ばしなどの筋トレ、片脚立ち練習などを行い、痛みの軽減や筋力維持、転倒予防に繋がっています。

また、介護職員の皆さんにも協力していただき、集団で足腰の運動もしており、皆さんと楽しみながら体を動かすことで、心と身体のリフレッシュに繋がればいいなと思います。

機能訓練後に「ありがとう」「体が楽になったよ」など感謝の言葉をいただくと、とても嬉しいです。



入職して3か月。介護と機能訓練には共通点があると感じています。それは、物や道具を使わずとも人を幸せにできることです。歩くことを支える、トイレ動作を手伝うなど【相手に寄り添う姿勢】が人を幸せにしていると思います。

これからも機能訓練をすることで利用者様の笑顔が増えて、デイサービスが過ごしやすい場所であり続けられるように努力していきたいと思っています。



散歩の効果 ～ 一石何鳥！？ ～

皆さんは、お散歩して太陽の光を浴びる事で、様々な効果が期待できるのを知っていますか？
例えば……

朝日に当たると
セロトニンが分泌され
体内時計を整えらる



うつ病の
予防になる



日光を浴びるとカルシウムを
吸収するためのビタミン D が
生成され骨を強くする



習慣化すると
筋力や免疫力が
アップ



脳への血流量が増え
しっかりと酸素が届き
脳の活動が活発に！



景色を楽しみながら
自分のペースで歩けるから
リフレッシュ効果あり



こんな風に、お散歩は一石二鳥どころか一石何鳥にもなり、簡単にできるお得な健康法でもあります。

お散歩していると、“こんなお花が咲いていた”“田植えをしていた”“白菜が大きくなっていた”“暑さ”“寒さ”など、その時々で季節を感じる事が出来ます。また、その時に感じた気持ちや考えを、周りの人に話すことでコミュニケーションが生まれます。お話しする事も脳に刺激を与えられるので、認知症の予防にもつながります。

夏の暑さや冬の寒さが厳しくなると、なかなか外に出ることが難しいので、じゅげむでも春や秋の過ごしやすい季節は、外に出ることを特に意識して、法人内で企画しているスタンプラリーを楽しみながらお散歩へ出かけたいと思います。





伝達研修 ～ 学びの場 ～



居宅玉樹では、今年度の目標の一つでもある「ケアマネジメントの質の向上」に繋がられるよう、外部研修参加後は事業所内で伝達研修を行い、知識を深められるようにしています。

今回は、介護支援専門員専門研修Ⅰを受講した職員より、

「ケアマネジメントプロセスの確認」と「課題整理総括表について」伝達研修を行い、アセスメント（利用者様の現状や課題の把握）の重要性を再認識することができました。

利用者様の解決すべき課題は、生活の中で本人様に直接結びつく情報からだけでなく、家族様や地域との関わりなど、生活全体を捉えてアセスメントを行っていく視点が大切だと改めて感じました。また、本人様の意向がしっかり活かせるよう「日常的な会話の中から出る訴えや希望」を聞き逃さず、本人様の望む暮らしに繋がっていきたいと思います。

外部研修を受けて終わりではなく、伝達研修を通して“伝える側” “学ぶ側”になってみることで、それぞれに気づきがあり「新たな学びの場」になると感じました。

伝える側にとっては、研修内容を再度見直し、人に分かりやすく伝える事でより理解が深まり、外部研修に参加していない職員にとっては、日々行っているケアを振り返る時間になっています。



文：谷貝智代



報告 社会福祉法人 絢会 平成30年度 事業活動計算書

単位は円

		2018 年度決算	構成比	2017 年度決算	構成比	差異
収益	サービス活動収益計 (1)	412,329,480	100.00%	409,979,543	100.00%	2,349,937
	人件費	259,035,814	62.82%	248,142,606	60.53%	10,893,208
	事業費	58,324,639	14.15%	58,543,320	14.28%	△218,681
費用	事務費	52,766,055	12.80%	50,282,759	12.26%	2,483,296
	減価償却費	38,819,767	9.41%	38,217,997	9.32%	601,770
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△8,592,477	-2.08%	△8,388,923	-2.05%	△203,554
	サービス活動費用計 (2)	400,353,798	97.10%	386,797,759	94.35%	13,556,039
	サービス活動増減差額 (3) = (1) - (2)	11,975,682	2.90%	23,181,784	5.65%	△11,206,102
	サービス活動外増減差額 (4)	949,275	0.23%	△1,093,707	-0.27%	2,042,982
	経常増減差額 (5) = (3) + (4)	12,924,957	3.13%	22,088,077	5.39%	△9,163,120
	特別増減差額 (6)	△181,030	-0.04%	△1	0.00%	△181,029
	当期活動増減差額 (7) = (5) + (6)	12,743,927	3.09%	22,088,076	5.39%	△9,344,149

掲載された写真は、本人様並びに家族様の了承の上で掲載しております。

発行：社会福祉法人絢会 発行責任者：吉川 秀貴 撮影・編集：絢会の仲間たち & 佐藤あすか

〒300-3572 茨城県結城郡八千代町菅谷 1021-1

TEL 0296-49-3886 FAX 0296-49-2987 Mail info@tamaki.or.jp

